



# 舞鶴小だより

長沼町立長沼舞鶴小学校  
学校便り 第10号  
平成29年 12月25日発行  
TEL0123-84-2001 Fax84-2034

## 今年一年間、ありがとうございました

校長 葛西 壽

公務補の須貝さんは毎朝早くに来て学校のボイラーの温度を上げてくれます。寒い外から学校に入るとフワッと暖かいのは須貝さんのおかげです。感謝しなくてはなりません。先日、須貝さんに「毎年、12月って、こんなに寒かったですかね？」と聞くと、「いや、今年は異常です！」と。今年は結局、2学期最後まで寒い日が続きました。本日2学期の終業式を迎えることができました。大きな事故や事件もなく、無事2学期も終了できましたこと、ひとえに保護者のみなさん、地域のみなさんのご協力のお陰と感謝しています。ありがとうございました。

古来の日本は儀礼、祭り、年中行事を『ハレ(晴)』と称し、普段の生活と厳然と区別していたそうです。農耕社会であった日本は、春には田植えを行い、夏には天候に気を配って農作物の成長を祈り、秋に収穫して寒い冬を越すために蓄えを行う。そして、年が改まる正月には、その年の作物が豊かに実るように、家族みんなが元気で暮らせるように、門松やしめ飾り、鏡餅を飾って、歳神様(としがみさま)を心からお迎えする。私たちが、当たり前のように使っている「明けましておめでとうございます」という言葉も、実は年が明け歳神様を迎える際の祝福の言葉だったそうです。

いまでも、大晦日に年越しそばを食べる、除夜の鐘を打つ、元旦にお雑煮を食べる、初詣に行く、お年玉をあげる(もらう)、書き初めをするなどの習わしが残っていますが、私たちが何気なく行っているそれらのことにもそれぞれに意味があるのです。古来からの日本のしきたりや年中行事を知ることは、「自己愛」(自尊感情・自己肯定感)を育てるいい機会です。何故なら「今、自分がここにいる」のは、先祖から脈々と受け継がれてきた命のつながりがあるからです。そのことを1年で1回でも意識することによって、今の自分を大切に、真剣に生きようとする心構えを作ることができるのではないのでしょうか？行く年、来る年のさまざまな習わしを通して「命のつながりを伝えること、親・先祖を敬うこと」なども、意識しながら子どもたちに関わっていただければ、と思っています。

最後になりますが、休み中も、交通事故や遊びでの事故、さらには不審者による事件等が依然心配です。併せて、インフルエンザや風邪など健康上の留意も必要な季節です。どの子ども充実した楽しい冬休みだったと始業式に再会できるよう、地域やご家庭での指導を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

少し早いのですが、良いお年をお迎えください。

1月予定		
日	曜	行事予定
1	月	元日
2	火	年始休業
3	水	年始休業
4	木	学校閉庁日
5	金	学校閉庁日
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	
10	水	学習会1、一日司書体験(町図書館)
11	木	学習会2
12	金	学習会3
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	年度末反省会議①
18	木	会議予備日
19	金	始業式
20	土	
21	日	
22	月	職員会議 全校朝読書~26、身長体重計測週間
23	火	クラブ3、移動図書
24	水	自由研究発表会
25	木	新年度方針会議、児童会(専・代)
26	金	スキー教室①(長沼)
27	土	
28	日	
29	月	選挙告示
30	火	クラブ4
31	水	

**PTA中間監査から** 早い雪の訪れに忙しい毎日ですが、今年13日に3つの区の区長さんがご参集下さりPTAの3つの会計を監査いただきました。中間監査ということで、これからのお金の使い方も含め、有意義な監査会議となりました。1月からは、新しい区長さん、よろしくお願いいたします。

『舞小あるある』今月

は、**遊具**です。



舞小のシンボルマークといってもいいカラフルな遊具達。今でこそ雪をかぶって静かにしていますが、春夏はいつでも子供達のお気に入りの遊び相手です。近所の小さな子供も時には遊びに来ているのを見かけます。

かなり前には、箱型ブランコや、回旋塔なんかもあってスリル満点な遊具もありました。そのように消えていったものもありますが、どの遊具にも共通しているのが、「手作り遊具」だという事です。

体育の時間で使う鉄棒は勿論、ほとんど全ての遊具が地域のみなさんの手作りだという事です。これには感動します。

地域の熱い思いが、遊具を通して子供達にも伝わっている事でしょう。



## 舞小あるある

## 長沼町130年の記録、「大地の侍」

今年の本校学校だよりの編集方針には「記憶、記録、気力」のキーワードがあります。

これは舞鶴小学校の重点から来ていますが、今月号では長沼町の「130年の記録」について触れましょう。

12月10日は日曜日でしたが登校日でした。3年生以上は姉妹都市岩手県奥州市と長沼町民との合同劇「大地の侍」を鑑賞しました。

奥州市水沢から40名もの市民劇団の方が北海道長沼町の開拓の歴史を伝える為にいらっしゃいました。劇は主人公「吉川鉄之助」の一生を縦軸に、どのように長沼町が始まり、開拓されて来たか130年の記録を伝えるものでした。

鑑賞した3、4年生はこの演劇の世界に胸を打たれ、長沼町開拓130年の歴史を受け継ぐ、熱い思いが生まれたことでしょう。

更に当日劇中で劇的だったのは、演劇最後のクライマックスで本校6年生が太鼓演奏したところです。

春から太鼓の演奏基礎打ちを見直し、百年太鼓の皆様のご指導を受け、この日まで練習に励んだ成果が、奥州+長沼の市民劇の一部に刻む事が出来た事です。

130年の記録を受け継ぐ素晴らしい演劇鑑賞会となりました。当日学校に残った低学年にもその思いは伝わり「たすき」は次の世代へと繋がっていったようです。

舞鶴小学校は、地域に支えられて今年も無事に年の瀬を迎えることが出来、子供達の冬休みが明日から始まります。(始業式は1月19日金曜日です。)

4月に新しい1年生4名を迎え、久しぶりに20名越えの舞鶴小学校です。雨の多かった春の影響で3日間伸びた連合運動会。それでも晴天の下、多くの皆さんに楽しんで頂きました。盛大に行われたPTAキャンプと、舞鶴夏祭り。今年の豊かな稔りを約束してくれました。

秋の学習発表会は楽しい演劇や美しい合奏をお見せ出来ました。南長沼保育園の皆さんに来て頂き、地域はもとより長沼の小学校としてご覧頂き、子供も先生方も有り難く感謝しております。

1年のまとめの学期が一月から始まります。学習面はもちろんの事1つ上の学年に向け、また6年生は中学校に向けて3学期を有意義に過ごしてもらいたいと思います。

クリスマス  
集会  
一生懸命、  
願いを考え、書いて  
いました。



赤い羽根  
共同募金  
児童会の  
声掛けで  
皆様にも  
協力いただき  
ました。

